



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月29日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2804 URL https://www.bulldog.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石垣 幸俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 犬塚 太郎 (TEL) 03(3668)6821  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,759	8.9	302	66.5	409	30.9	283	41.2
2020年3月期第1四半期	4,369	△0.2	181	47.3	313	8.4	200	△46.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 471百万円( -%) 2020年3月期第1四半期 △112百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	21.14	—
2020年3月期第1四半期	14.97	—

(注) 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	26,146	20,043	76.7	1,494.43
2020年3月期	25,830	19,809	76.7	1,477.00

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 20,043百万円 2020年3月期 19,809百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	3.3	670	4.7	980	△5.8	670	△3.2	49.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	13,954,880株	2020年3月期	13,954,880株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	543,016株	2020年3月期	543,016株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	13,411,864株	2020年3月期1Q	13,411,872株

1. 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

2. 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。期中平均株式数(四半期累計)については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）における我が国経済は新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が大きく抑制され、消費活動が減速し景気の先行きは非常に不透明な状況となりました。

食品業界におきましては、外食需要の大幅な落ち込み、家庭内消費による内食需要の高まりなど消費行動に前例のない程の大きな変化が生じております。

このような状況のもとブルドックソースグループは、2020年4月24日に「当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の感染拡大や緊急事態宣言に伴う当面の取組について」とした基本方針をブルドックソース株式会社取締役会において決議し、市場の大きな変化に対応し、かつ新型コロナウイルス感染防止に向けグループの総力を挙げて取り組むことを宣言いたしました。

さらに、安全で安心な商品を継続して供給する体制を確保し、消費行動の変化に対応するため以下のような対策を実施してまいりました。

第一に、グループ内の人員や予算等を業務用営業部門から家庭用営業部門へシフトし、また家庭内食関連のレシピの発信強化等により家庭用市場に対する営業力を強化いたしました。

第二に、生産物流関係部門において、社員の体調管理を含めた衛生管理をさらに徹底したうえで特に家庭用商品の増産対応、品質管理の徹底、物流体制の維持を図ってまいりました。

第三に、これらの対策を支えるための働き方改革として、在宅勤務の徹底、時差出勤、リモートワーク等を推進いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、家庭で料理を簡単かつ楽しく作れる材料セットや、自宅で調理する内食増加によりお好み焼ソース、焼きそばソース、レギュラーソース等の売上が増加したことにより前年同期比8.9%増の47億5千9百万円となりました。

また営業利益は、減価償却費の増加等減益要因はあったものの、増収効果および業務の生産性、効率性の向上による経費削減等により前年同期比66.5%増の3億2百万円、経常利益は前年同期比30.9%増の4億9百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比41.2%増の2億8千3百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億1千5百万円増加し、261億4千6百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて2億8千4百万円増加し、97億3百万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が減少したものの投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて3千1百万円増加し、164億4千3百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて8千2百万円増加し、61億3百万円となりました。

流動負債につきましては、その他に含まれる未払金が減少したものの支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加などにより前連結会計年度末に比べて1千6百万円増加し、38億3千9百万円となりました。

固定負債につきましては、繰延税金負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べて6千5百万円増加し、22億6千4百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて、2億3千3百万円増加し、200億4千3百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,301	4,099
受取手形及び売掛金	4,365	4,684
商品及び製品	514	577
原材料及び貯蔵品	134	163
仕掛品	16	24
その他	86	154
流動資産合計	9,419	9,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,653	2,585
機械装置及び運搬具（純額）	2,104	2,018
土地	2,784	2,784
建設仮勘定	58	61
その他（純額）	134	126
有形固定資産合計	7,734	7,576
無形固定資産	63	62
投資その他の資産		
投資有価証券	7,738	8,009
繰延税金資産	145	143
その他	738	661
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	8,613	8,805
固定資産合計	16,411	16,443
資産合計	25,830	26,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,410	1,549
電子記録債務	331	437
短期借入金	30	30
1年内返済予定の長期借入金	250	248
未払法人税等	163	126
未払費用	1,120	1,056
賞与引当金	205	100
その他	310	290
流動負債合計	3,823	3,839
固定負債		
長期借入金	429	408
繰延税金負債	820	896
退職給付に係る負債	866	880
役員株式給付引当金	22	24
執行役員退職慰労引当金	14	15
長期未払金	15	15
その他	28	23
固定負債合計	2,198	2,264
負債合計	6,021	6,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	14,982	15,028
自己株式	△653	△653
株主資本合計	17,938	17,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,882	2,070
退職給付に係る調整累計額	△11	△11
その他の包括利益累計額合計	1,870	2,058
純資産合計	19,809	20,043
負債純資産合計	25,830	26,146

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,369	4,759
売上原価	2,103	2,262
売上総利益	2,265	2,497
販売費及び一般管理費	2,084	2,194
営業利益	181	302
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	108	111
投資有価証券売却益	23	—
その他	2	2
営業外収益合計	133	113
営業外費用		
支払利息	0	1
保険解約損	—	4
その他	1	0
営業外費用合計	2	6
経常利益	313	409
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	24	—
特別損失合計	25	0
税金等調整前四半期純利益	287	409
法人税等	86	126
四半期純利益	200	283
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	200	283

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	200	283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△313	187
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△313	188
四半期包括利益	△112	471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112	471
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。